

日本共産党議員団を代表して、議会議案第４号に対し、反対討論を行います。

本議案は、議員定数を現行１９名から１名減の１８名にするというものです。これは、４年前の第２回定例会最終日に否決された条例案と同じ内容のものです。

この間、摂津市議会では、議会運営委員会を中心にさまざまな議会改革や議会運営についての議論を各会派の合意のもと行い改革を進めてきました。

提案者は、この４年間、一度も議会内で議員定数削減を提起することもなく、突如、９月の市議会選挙直前の本議会最終日になって提案されることに強い違和感を感じます。本当に定数削減を主張されるのであれば、この４年間、議会全体での調査研究、議論をよびかける提起をすべきではなかったでしょう。

コロナ以降の社会変容、異常な物価高、市民生活の多様化など市民生活や行政への期待は複雑に多様化しているなか、さまざまな議案審議や提言を行なっていく上で現行１９名はぎりぎりのラインです。

また、議員定数の削減は、女性や若者など幅広い市民の市政参画の機会をも狭めるものです。今、必要なことは、議員定数の削減ではなく、二元代表制の一翼を担うべく、多様な市民の立場で市政をチェックし、市政に反映させる議会機能の強化であることを申し上げ、反対討論といたします。